

第6回 桐生市学校規模等適正化梅田中学校区検討委員会 議事録

○日 時 令和7年11月4日(火) 午後2時～午後2時49分

○場 所 桐生市立梅田中学校 2階 図書室

○出席者

【桐生市学校規模等適正化梅田中学校区検討委員会】8名

委員長	小島 隆
副委員長	大根 理恵
委員	窪田 樹
委員	前原 太
委員	間中 一枝
委員	糸井 孝夫
委員	木村 利子
委員	金井 仁史

【桐生市教育委員会】9名

《事務局》

教育部長	森 広一
教育部参事	渡邊 真宏
教育部総務課長	峯岸 孝徳
教育部学校教育課長	須藤 英隆
教育部教育環境課長	糸井 広江
教育部教育環境課教育未来係長	千葉 敦弘
教育部教育環境課教育未来係	新井 広明
教育部教育環境課教育未来係	小池 正文
教育部教育環境課教育未来係	大澤 豊

【傍聴者】 0名

【報道機関】 1社

○議事の概要

1 開 会 [開始：午後 2 時 00 分]

- ・事務局から、過半数以上の委員の出席により、会議が成立することを報告。

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- ・議事進行は、桐生市学校規模等適正化中学校区検討委員会及び地域協議会設置要綱第 8 条の規定により、委員長が議長を務める。
- ・配布資料の概要について、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、特になし。

4 議 題

(1) 学校統合に関する検討事項について

- ・第 1 回地域協議会の結果について、委員から報告。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	<p>本日は、学校統合に関する検討事項について、委員の皆様にご協議をいただきしたいと思います。はじめに、10 月 14 日に開催されました第 1 回中央・清流・境野・梅田地域協議会の結果について、ご報告をさせていただき、地域協議会の結果や、これまでの資料 18 を参考に、梅田中学校区の方向性について、小学校、中学校区の順に、委員の皆様全員のご意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>なお、本日、皆様からいただいたご意見につきましては、後日開催予定の第 2 回地域協議会において、梅田中学校区の考え方として報告し、再度、他の中学校区と学校適正配置の方向性を協議することになります。</p> <p>それでは、先日開催されました第 1 回中央・清流・境野・梅田地域協議会の結果について、委員からご報告をお願いいたします。</p>
委員	<p>梅田中学校区の意見としましては、小学校は、統合後に使用する校舎については、東小の一択であります。統合に対する考え方については、より早く統合して、より良い環境の中で教育を受けさせてあげたいということです。通学手段については、スクールバスは幹線道路を行き来するだけではなく、山間部の奥まで行ってもらえる仕組みができないかという発言がありました。質問・意見交換では、「皆さん子供たちのために集まっていると思う。どうか、子供たちの未来を考えた上で、おそらくどこかの地域が何かを飲まなければいけない。苦渋の選択をしなければいけないところが出てくるかと思うが子供たちの未来のために建設的な話を進めていただければと思います。」と梅田地区としてお話をしてきました。</p>
議長(委員長)	<p>ただいま委員から報告のあった内容につきまして、ご質問はございますか。まずは、報告内容についてのご質問にとどめていただき、委員の皆様の意見については、この後、改めて順番にお聞きできればと思いますので、</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>よろしくお願いいたします。何かご意見はありますでしょうか。ないよう ですので、資料 18 の 6 ページから 8 ページ、先ほどの報告を参考にして いただき、小学校の方向性について、全ての委員の皆様からご意見をいた だきたいと思います。具体的には、小学校の統合方法について、ケース〔1〕、 ケース〔2〕、ケース〔3〕のどの方法が良いか。また別の方法がございましたら お願いいたします。</p> <p>なお、他の委員のご意見をお聞きし、ご質問やご意見がございましたら、 全ての委員の皆様からご意見をいただいた後に、挙手をお願いいたしま す。それでは、順次よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>梅田地区は、前回、ケース〔1〕、ケース〔2〕を選択していましたが、地域協 議会に参加して、ケース〔3〕でも良いのかなと思いました。他の中学校区の 意見を聞くと、西小が加わることで東小に統合する際、児童数が増え、ま た、西小の保護者から統合するのであれば東小が良いという意見もあると いうことで、ケース〔3〕でも良いのかなと思いました。西小の地域の方は、 ギリギリまで学校を残したいという思いがありますが、この思いは他の学 校の地域の方も同じだと思います。ケース〔1〕の西小・南小・境野小の統合 は、西小から境野小までの距離が遠いと感じたので、ケース〔3〕も候補であ ると思いました。</p>
委員	<p>資料で各地区の意見等を読み、また、副委員長の話聞き、どの意見も 納得するところがありました。どのケースかと考えるよりも、何を優先す るのかということになるかと思います。単学級回避を優先するのか、近い 学校に通えることを優先するのか。そこは各地区の考え方、選択になるよ うに思います。</p> <p>どのケースにしても、近い学校に通えるように柔軟な対応をしていただ くのが良いのかと思います。自分が昭和小に勤務していた時、南小との統 合で、昭和小の児童が、全員南小に行ったと思われがちですが、実は西小 に行った児童もいました。3 分の 2 の児童が南小に行き、桐生駅周辺の 3 分の 1 の児童は西小に行ったと記憶しています。なるべく近いところに 通うことができるのが大切だと思います。</p> <p>在校生たちのことを考えると、せっかく友達になったのに、学校が離れ 離れになるのはかわいそうでもあります、統合以降に入学する児童生徒 たちにとっては、自分の家から一番近いところに通うのが自然だと思うの で、柔軟な対応も必要であるように思います。</p>
委員	<p>現在、梅田南小は、全学級が単学級です。なるべく早く、多様な価値観 に触れられて、子供たちの学びが広がるような環境を用意してあげたいと いう思いであります。議事録などを読ませていただくと、先ほど、副委員 長からも出ていましたが、境野小に西小の児童が通うのは、通学距離が長 くなります。通学許可区域を考慮すると、確かにケース〔3〕もあると思いま した。梅田南小は、令和 11 年度には複式学級が発生してしまうので、な るべく早く子供たちに良い環境を用意してあげたいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>梅田地区は、三つのケースのどれでも南に下がって東小へ行けばそれで良いのですが、先ほどから話が出ている西小、南小、境野小を現在の学校区のまま分けるとするのは、かなり厳しいところがあると思います。先ほどもお話が出ているように、兄弟姉妹が違う中学校へ通うという選択になると、その家庭にとってはつらいと思います。</p> <p>現在の学校区ではなく、分け直す方が人数的、距離的にも理想的なやり方ができると思います。渡良瀬川沿いの西小から境野小の地域に、線を引くのは、大変かと思います。おそらく、西小だと東小に通った方が近い児童がたくさんいると思います。通学する学校を自由にさせようと、人数に偏りが生じてしまうかもしれないので、そこも考慮して、できるだけ近くの学校に通えるように、分けた方が良いのではないかと思います。ただ、梅田地区にとっては、南に下がって行くので、東小の一択で大丈夫だと思います。他の学校区は、いろいろ大変なことがあると思います。</p>
委員	<p>委員の皆さんの意見を聞くと、梅田は、他の地区と離れていますからいろいろな面で大変かと思います。でも、地域協議会に 3 人の代表者が行き、ある程度の方向性が出ていると思います。ですので、統合先が東小という、先ほど副委員長が言ったような意見は、西小の代表者とまた話し合うべきだと思いますが、何しろ子供たちがどんどん少なくなるわけです。将来の梅田地区の児童生徒数の推計も出ていますので、早く検討して、早く子供たちが安心できるような、そんな方向性にもって行くのが一番良いと思います。</p>
委員	<p>ケース①、②、③とありますが、そもそも優先順位を何にするのか。それを考えると、ケース④、⑤等も考えていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>例えば、単学級になるのが心配だという学校があるわけですが、梅田南小は既に単学級ですから、他の学校とは温度差というか、環境が全然違うわけです。そのようなところと一緒に話し合いをしても、話し合いの中で結論は出ないです。例えば、梅田で言えば、単学級を解消するとすれば、とりあえず北小と一緒にするという案でも良いわけです。他のところが全部合意するのを待っていると、あと 2 年半でこの計画どおりいくか疑問です。</p> <p>この会議の進め方を見ても、協議会の中で意見を集約するというよりも、いろんな意見を聞いた上で、最終的には、教育委員会、桐生市の方で判断をするということになると思います。前回の協議会でも意見がありましたが、学校の廃止となりますと、放課後児童クラブをどうするのか、それから施設の利用、学校開放等をどうするのかは、当然、市の方では考えていると思います。しかし、市の考えが我々の方に伝わってこないで、利用者なり学童に預けている方、それから学童を運営している方が、非常に不安に思っています。それらを解消するためにも、もっと情報を開示していただければありがたいと思っています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>私個人とすれば、現行のままで、ケース[1]で良いのではないかと思います。それから、通学の区域ですが、今現在、梅田南小の通学区域というのは、梅田町1丁目から5丁目等、それぞれ指定されていますが、これだけ人数が少ないわけですから、それを梅田は自由にするとか等、どこの学校へ行っても構わないという柔軟性があっても良いかと思います。それで結果的に、選ばれない学校が出たとすれば、それはそれでまた次の判断を仰ぐことも有効ではないかと思います。ましてや、市内の方でも西小学校区や南小学校区等は隣接しています。大分混みあっているところもありますので、臨機応変に通学しているようなことも聞いております。兄弟姉妹で同じ中学に行きたければ、そこに行くことは可とするような対応で良いかと思います。</p>
委員	<p>梅田中学校区だけのことに限って言えば、ケース[1]、ケース[2]、ケース[3]どれも良いと思います。西小の児童が、境野小に行くのは遠いという話がありましたが、梅田南小の児童のことだけで言えば、菱町二丁目にあるパン屋さん付近から梅田南小に来ている児童もいます。そこは、菱小に近いです。家庭の事情によって、梅田南小に来ている児童もいます。遠くに行きたい児童もいれば、近くの学校に行きたい児童もいるだろうし、その辺に関しては、柔軟に対応してもらえ方が良いのではないかと思います。</p> <p>梅田地区のことに限って言えば、東小で良いと思います。それ以外の小学校のことに限っても、考えなくてはいけないとは思いますが、梅田南小に関しては、とにかく何よりも早く、他の学校と一緒にしてほしいということが第一だと思います。保護者の立場からすれば、とりあえず早く統合してほしいです。例えば、ケース[3]が良いのではないですかというようなことは、梅田南小以外の学校のことなので、こちらから言うようなことではないように思います。</p>
議長(委員長)	<p>議長という立場ですが、個人としての意見を言います。ケース[2]、ケース[3]のどちらかが良いと思います。先ほど、委員から話があったように、通学許可を柔軟にするということを含めて考えるとケース[3]。西小の通学範囲を柔軟にして、希望に沿ってある程度どちらへ行くことも許可されるのであれば、ケース[2]とケース[3]を比べた場合に、ケース[3]が良いと思います。</p> <p>一通り委員の意見をお伺いしました。その他、ご意見等ありましたらお願いいたします。特にありませんか。ケース[2]、ケース[3]、それ以外、特にどちらでも良いという意見で、なかなか一つにはまとまりませんでした。事務局、どのようにすればよろしいでしょうか。</p>
事務局 (教育環境課長)	<p>一つにはまとまっていますが、委員の多くから出ていた「とにかく早く」というのもご意見だと思いますので、そこも含めて地域協議会で報告していただき、引き続き方向性について、協議が必要ということでお話しいただければと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	<p>それでは、この検討委員会においては、小学校についての考え方として、一つにまとまらなかったということで、引き続き協議するべきということであろうでしょうか。そのような内容で、地域協議会に報告したいと思います。</p> <p>続きまして、資料 18 の 9 ページから 10 ページや、先ほどの報告を参考にさせていただいて、中学校の方向性についてまた、ご意見を伺いたいと思います。この資料の中で、小学校がケース①、②で統合した場合、小学校がケース③で統合した場合についての記載がありますが、それ自体がまだ一つにまとまっていないので、それも含めて順にお願いいたします。</p>
委員	<p>先日、中学校の役員会議で、この検討委員会の進行状況を報告した際、統合時期を早く明確にして欲しいとのご意見をいただきました。来年度の中学入学を準備したいけれど、どのように用意していけばよいか、保護者の中には、梅田中にしようか清流中にしようかと迷っている方もいるとの報告でした。ケース①、②というよりも、梅田地区としては、より早い正式な決定を求めているというのを感じました。</p>
委員	<p>今、副委員長が言われたとおり、先週の金曜日に、PTA の会議で副委員長にいろいろ報告をしていただきました。早く、明確にさせていただきたいというご意見が多かったです。それによって、いろいろな準備を保護者は進めていきたいというような意見がありました。</p> <p>学校としましても、来年度の入学する生徒、それから再来年度の見込みの生徒、どうしてもどんどん少なくなってくる傾向にあります。それがどの程度になるのかも、まだはっきりはしないところです。部活動をはじめ、学校のいろいろな係、委員会活動や掃除、そういう細かいところになりますが、人数が少ないことによって支障が出て、子供たちが思ったとおりの活動ができなくなるという懸念があります。学校としても早めに状況が分かり、それに向かって子供たちも教員も進めていけると良いかなと思っています。</p>
委員	<p>小学校 6 年生の保護者にどうなりますかと聞かれたこともあります。その保護者は、今の計画でいくと、統合時期にちょうど中学校 3 年生になり、受験ということで非常に心配をしています。早く説明をしてもらいたいというご意見もいろいろお伺いしています。梅田地区としては、なるべく早く安心した環境が用意できるような方向で、話が進むと良いのかと考えています。</p>
委員	<p>梅田中の場合、清流中へ行く案だけだと思います。カバンや制服等、いろいろな物も含めて、桐生市全部で統一するような方向で計画してやらないと、保護者が心配すると思います。</p> <p>また、どの小学校区からも私立中学校へ行く児童はある程度います。小学校の児童が、公立の中学校へ 100 パーセント行くわけではなく、私立中学校も存続を図るためにいろいろな特化したことをやっています。保護者を安心させる意味でも、制服やカバン、運動関係の物などについて、最後</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>は全部が同じになるようにして、今から揃えても大丈夫というような案を出してあげるのも一つの方法ではないかと思っています。</p>
委員	<p>先ほど副委員長が言いましたように、中学校の PTA の方が話し合っているところと要望しているわけですから、そこをよく汲み取り、なるべく早く、皆さんの意見の方向を聞いて、早めにやっていただければ一番良いのではないかと思います。</p> <p>また、タイムスなど、いろいろな報道を見ると、地域の人たちが、わがままなことを言っているように思えることがたくさんあり、子供のことも、自分の地域が大事であると言っているようにも感じます。確かに、自分たちが一生懸命頑張ってきた所ですから、皆どこの地域も大事です。でも、子供のことを考えると、子供を中心にして、地域の人をそれを応援してやるような形でないと、いけないのではないかと思います。統合はなるべく早めにしないと、時間はどんどん過ぎていってしまうと思います。ですので、その辺もよく考えて、検討しなければいけないと思います。</p>
委員	<p>今までの皆さんの意見をお聞きますと、小学校と中学校のどちらも、もうすぐにでも、なるべく早い時期に統合するのが良いと思います。中学校で言えば清流中、小学校で言えば東小に一緒にになりたいということであると思います。梅田地区とすれば、今年度中に、市の方で、学校設置条例を改正していただいて 2 年後に梅田中と梅田南小を廃止するということをして桐生市長が議会に諮って決めてもらわないといけないと思います。教育委員会サイドでいろいろな考えを出しても、それは具体的な方針だけです。ここはトップが決断をするときだと思います。そうしないと、再三お話に出っていますが、保護者も大事な子供たちをどの学校へ預けたらいいか迷ってしまいます。それは非常に無責任な話だと思います。</p> <p>子供も少ない時代ですから、本当に大事な子供たちです。一人ひとり、これから無限な可能性があるわけですから、その芽を摘んでもらいたくないと思います。</p> <p>義務教育というのは、全ての児童生徒に、公平で平等な機会を与えることが大きな目的かと思うので、是非、ご英断、厳しい判断をしていただきたいと思います。その判断には、納得する人もいるでしょうし、納得がいかないから、違う選択をする人もいるでしょうが、今の時代ある意味仕方がないことだと思います。できるだけことはやっていただきたいをお願いします。</p>
委員	<p>市が、区切りをつけて決定するというのは、保護者側からすれば次の行動に移れるので、とても良い話だと思います。</p> <p>また、先ほど委員が言ったように、制服の統一という意見も正直ありがたいと思います。保護者としては、決定してもらえば、そこで決断ができるし、それで行動ができるのでどんどん市の方で、市長に決定していただくということも、私たち保護者としてはすごくありがたい話だと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>話し合いもすごく大事だと思いますが、誰かが先頭に立って決定するのもありであると思います。いろいろなケースを示してもらのではなく、これから先は、こうなりますと言ってもらえると、ありがたいです。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございました。私の個人的な意見ですが、先ほどから各委員さんから言われたのは、「早く」というワードです。私、個人としてもそう思います。もう既に、梅田町から清流中の方へ自転車で通っている生徒を見かけております。それも毎朝複数の生徒を見かけるところであります。それが来年春になると、さらに加速すると思いますので、そういう状況の中で、どっちにしようかという段階ではないような気がします。</p> <p>中学校の場合には、ケース[1]もケース[2]も全体的には同じようなものなので、先ほど制服の話も出ましたが、制服を買ったり、あるいは自転車を買ったり、送り迎えするのに車が小さいから入れ替えるといったような話がもう実際出ています。この状況下では、上層部の人も含めて、決断をしても良いのではないかなと思うわけであります。個人的には以上です。</p> <p>それでは、中学校については、基本的には、見かけ上ケース[1]もケース[2]も同じですけれども、ケース[1]かケース[2]のどちらかにまとまっていけないので、引き続き協議ということになります。内容的には皆さん同じ意見で、とにかく早く次のステップに進んでもらいたいということであります。一応、引き続き協議が必要ということになりますが、今のような状況を地域協議会の方へ持っていきたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。よろしいようですので、梅田中学校区検討委員会の方向性については、小学校についてはまだ一致した意見が出ない。中学校については、どちらかというのではなく、とにかくもう決断の時期が来ているということであります。これらのことを地域協議会で報告して、他の中学校区の考え方をお聞きしながら、適正配置の方向性をさらに協議していきたいと思ひます。</p> <p>本日の協議事項は以上になります。ありがとうございました。他に委員の皆様から全体を通して何かご意見等ございますか。特にないようですので、本日予定しておりました議事は以上になります。ここで議長の任を解かせていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。</p>

5 その他

6 閉 会 [終了：午後 2 時 49 分]